

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-1250
施設名	椎名町ちとせ保育園
施設所在地	東京都豊島区長崎1-1-14
法人名	社会福祉法人ちとせ交友会

1. 活動のテーマ

<テーマ>

【音の探究活動】～様々な楽器に触れ音の違いを知ろう♪～

<テーマの設定理由>

昨年度豊島区ワークショップで民族楽器の演奏鑑賞と民族楽器の体験を経験したのをきっかけに、「和太鼓」「平太鼓」は素材は何からできている？どんな音がするのだろうか？と子どもたちの興味関心からスタートした。
音の探究活動を通して様々な音に興味関心に繋がり、更なる感性の広がり期待を目指した。

2. 活動スケジュール

4月～3月鍵盤ハーモニカ、鈴、トライアングル（継続活動）、6月～10月鳴子（継続活動）、
9月～3月和太鼓、平太鼓（継続活動）、11月～3月ハンドベル、ウッドブロック、木琴（継続活動）3月ウッドマラカス

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・和太鼓、平太鼓の購入。和太鼓の収納ケースも購入し、和太鼓の扱い方、片づけ方を子どもたちと保育士と一緒に行うことで楽器を大切に扱う心も育つようになった。
- ・木琴、ハンドベル、ウッドブロック、ウッドマスカラの購入
- ・スマートフォンで撮影した動画を共有し振り返りの場面で使用。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

様々な楽器に触れ継続的に音の探究活動に取り組むことができた。夏祭りや運動会、生活発表会などで保護者様の前で楽器の演奏を披露したり、Instagramに投稿や園だよりクラスだよりを通して保護者様にも共有できた。

継続的な音の活動を通して、異年齢交流にも繋がりができた。



<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

様々な楽器に触れていく中で、それぞれの素材の違いや、形、大きさ、音の出る仕組みの違いに興味関心をもって探究できるよう環境の配慮や声掛けを意識していった。

「和太鼓」以外にも「木琴」「ウッドブロック」「ハンドベル」「ウッドマスカラ」「鳴子」などどんな素材で出来ているのか？音の違いはあるのか？どうやって音が出るのだろうか？と考え想像し興味関心が膨らみ楽しく活動する姿が見られた。

運動会や生活発表会の演目は子どもたち自身から『和太鼓を披露したい』という声があがり、リズムを合わせる場面では、「せーの！」と子ども同士で声を掛け合い一緒に演奏する楽しさも知ることができた。みんなで演奏することで一体感やハーモニーが生まれわくわく楽しい活動へと繋がった。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

子ども主体で発見や探索活動ができるように環境を設定し、子ども中心のサークルタイムや少人数でのグループ分けなど行い、興味関心をもって活動に取り組めるように配慮した。

昨年度の民族楽器ワークショップがきっかけとなり、楽器に触れ合いたいと思っていたタイミングで地域の和太鼓の会の方から和太鼓2台を寄付していただいたことで、本物の和太鼓に触れる機会ができるようになった。「和太鼓の素材は何で出来ているの?」「和太鼓と平太鼓では音が違うの?」など小さな疑問から自分たちで調べてみる、素材を観察してみることも興味関心が沸いていく姿をみて、保育士も子どもの目線にたち疑問点や気づきを一緒に考え共感できるように、そしてその先に繋がっていくようにわくわく楽しい活動ができた。

活動を取り組んだ様子を園内でも披露する機会を作ったことで、幼児クラスが乳児クラスの児に優しく関わり、一緒に楽器に触れてみる異年齢活動にも繋がった。